

生活単元学習学習指導案（略案）

平成26年11月14日 金曜日 2校時
 高等部Cグループ男子4人女子2人計6人
 場所 図書室
 指導者 ○○○○(CT) ○○○○(ST)

1 単元 「後期現場実習に行こう」

2 本時の実際（15／16）

(1) 全体目標

現場実習ががんばり表を基に現場実習（以下、実習）の様子を振り返り、互いの良いところに気付いて発表したり、学校や卒業後に行きたい職場での目標を考えたりすることができる。

(2) 評価規準

育てたい力	評価規準	観点
自分づくり	① 他者評価を基に自分の成果や課題を知る。 ② 卒業後に行きたい職場を選ぶ。	【知識・理解】 【思考・判断・表現】
関係づくり	③ 自分と友達の評価を比べて相互に良いところに気付いて発表したり、友達の発表を聞いたりする。	【関心・意欲・態度】 【技能】
生活づくり	④ 課題に気付き、解決や克服に向けた具体的な目標を立てる。	【思考・判断・表現】 【技能】

(3) 個人目標

生徒	個人目標
K. R (3年, 男)	友達や教師と一緒にがんばり表を見て、自分や友達の良かったことや課題に気付いて発表したり、今後の目標を立てたりすることができる。
T. K (3年, 男)	友達や教師と一緒にがんばり表を見て成果と課題を確認し、絵や写真を指さして選びながら今後の目標を教師と一緒に立てることができる。
F. S (3年, 男)	友達や教師と一緒にがんばり表を見て成果と課題を確認し、絵や写真を基に意思を言葉で伝えながら今後の目標を教師と一緒に立てることができる。
M. Y (3年, 男)	がんばり表を見て実習での成果と課題に気付き、教師と一緒に今後の具体的な目標を立てることができる。
K. E (3年, 女)	がんばり表を見て、実習での成果と課題、自分や友達の良かったことに気付き、今後の具体的な目標を立てることができる。
F. M (3年, 女)	がんばり表を見て実習での成果と課題に気付き、友達や教師と一緒に今後の具体的な目標を立てることができる。

(4) 指導及び支援に当たって

学習活動の概要と授業環境の工夫

生徒たちは、前時までの学習で、現場実習の写真及びビデオ視聴、実習報告会への参加、実習日誌の他者評価を可視化したがんばり表の作成などを行うことで、実習先での成果と課題を知ることができた。一方で、それらを基に学校生活や卒業後の具体的な目標を考えて行動することはまだ難しい。そこで本時では、がんばり表を基に自分や友達が頑張ったところ、これから頑張りたいことを確認し合い、学校や卒業後に行きたい職場での目標を決める学習を設定した。具体的には、がんばり表の三つの観点（あいさつ、なかよく、仕事）から、それぞれ評価の高い項目と低い項目に着目して成果と課題を確認し【自分づくり】、今後の具体的な目標を決めることができるようにしたい【生活づくり】。その際、互いの発表を聞き、友達の良いところや自分の評価との違いに気付くことができるようにする【関係づくり】。そのために、友達の姿を見ながら発表しやすくするために半円状に座席を配置するようにする。

教材・教具とのかかわりについて

実習日誌の他者評価を点数化して色分けした表を用いて評価を可視化することで、実習の成果と課題に気付くことができるようにする。

人（友達や教師）とのかかわりについて

友達や教師と一緒に、良いところや課題を伝え合い、相互に認め合ったり、励まし合ったりすることができるようにする。

自分とのかかわりについて

個別のがんばり表を用いて、実習日誌と照らし合わせて自分の成果と課題に注目できるようにしたり、卒業後に行きたい実習先の写真や映像を用いて卒業後をイメージしやすくしたりする。

(5) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (5分)	1 始めの挨拶をする。 2 学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">がんばり表を見て、これから頑張ることを決めよう。</div>	<ul style="list-style-type: none">姿勢を正すことで、学習の始まりを意識できるようにする。前時作成のがんばり表と一緒に確認し、学習内容を想起したり、意欲を高めたりすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none">がんばり表めあてカード
展開 (40分)	3 がんばり表から友達の結果や課題を見付け合う。 (1) がんばり表から自分の結果や課題を見付ける。 (2) がんばり表から友達の結果や課題を見付ける。 (3) がんばり表から気付いたことを記録し、発表する。 4 自分や友達の評価を基に、行きたい職場と学校での目標を考える。 (1) 卒業生の姿を見て、自分が職場で働くことを想像する。 (2) 卒業後に自分が行きたい実習先を選ぶ。 (3) 発表した結果や課題を基に良かった点や改善点に気付く。 (4) 良かった点を伸ばし、改善する具体的な方法をまとめる。	<ul style="list-style-type: none">がんばり表の評価と実習日誌の他者評価を照らし合わせ、現場実習の結果と課題を詳しく想起できるようにする。作業をしている写真や絵を複数枚提示することで、作業中の努力や成果を思い出すことができるようにする。机上に個別のがんばり表を置き、実習日誌と実習先の評価を即時的に比べたり、確認したりすることができるようにする。観点を色分けすることで、結果と課題が明確になるようにする。K. R, T. K, F. Sが目標を考える際は、S Tが助言や資料の提示をすることで、一緒に考えることができるようにする。M. Y, K. E, F. Mが自分で考えることができるように、ヒントカードを提示する。	<ul style="list-style-type: none">がんばり表実習日誌個別のがんばり表ホワイトボード発表手順表顔写真カード作業の様子絵実習先の写真卒業生の写真卒業生クラブで活動する先輩の写真ヒントカード
終末 (5分)	5 本時の振り返りをする。 6 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none">本時のめあてを振り返り、良かった点やこれから頑張る点を確認できるようにする。動作や言葉を一緒に伝えることで、学習の終わりを意識できるようにする。	

(6) 評価

現場実習ががんばり表を基に実習の様子を振り返り、互いの良いところに気付いて発表したり、学校や卒業後に行きたい職場での目標を考えたりすることができたか。